

——最愛の妹トシを失い家族と対立し「春と修羅」の中で賢治は自らを修羅と称しました。

「銀河鉄道の夜」では生と死について問いかけました。そして熱烈に帰依した法華経の教えに従い現世浄土を実現すべくイーハトブを夢見ました。

信長貴富さんの「異界の門」は賢治のそうした壮絶な生きざまが凝縮された音楽です。

また、賢治は当時としては珍しく西洋音楽を愛し自らもチェロを演奏し作曲もしましたが、修羅の道を歩む彼に

カントウスアニメ第25回演奏会

信長貴富作品展

Vol.2

賢治と祈る

とっては唯一の心の安らぎの場が音楽であったのかもしれない。

一方、2011年の東日本大震災そして原発事故、また近年頻発している未曾有の大災害そして国家間の紛争など、まさに世界は今、修羅の真っ只中にあるといえるのかもしれない。

そうした状況に思いを致す時、賢治が言葉で音楽でそうしたように、私たちも歌うことで音楽すること「祈る」ことしかできません。

今回の演奏会の演出をお願いしたしままなぶさん発案の「賢治と祈る」には、そういう願いが込められているのだと思います。

皆さまのご来場を心からお待ち申し上げます。

(音楽監督 雨森文也)

Cantus Animae

出演・スタッフ

監修・信長貴富
演出・しままなぶ
指揮・雨森文也
ピアノ・平林知子、野間春美
打楽器・久米彩音、目等貴士
照明・林高士
舞台監督・山崎真義
合唱・CANTUS ANIMAE

プログラム

混声合唱とピアノのための音画

『銀河鉄道の夜』

作詩・宮沢賢治 作曲・信長貴富

混声合唱とピアノのための

『春と修羅』

作詩・宮沢賢治 作曲・信長貴富

混声合唱と二台のピアノのための

『異界の門』

作詩・宮沢賢治 作曲・信長貴富

混声合唱による

『東北地方の三つの盆唄』

編曲・信長貴富

日時

2022年6月18日(土)

13:45 開場 14:30 開演

※14:00より信長貴富×しままなぶ×雨森文也による
プレトークを予定しております

チケット

(全席指定) 一般 3,000円、学生 2,000円

※当日券の販売はございません。

販売 ▶ Confetti (カンフェティ)

<http://confetti-web.com/CANTUS-ANIMAE25>

電話予約: 0120-240-540
(受付時間 平日 10:00 ~ 18:00)

■ 演奏会情報 HP ■

<https://www.cantus-animae.net/praywithkenji/>

■ お問い合わせ ■

E-mail: ticket@cantus-animae.net

Tel: 090-2325-6419 (愛木)

【後援】KDM日本合唱指揮者協会 東京都合唱連盟



※ご来場のお皆様へお願い

本演奏会は、全日本合唱連盟のガイドライン等に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を実施したうえで開催いたします。ご来場時はマスクの常時着用、手指消毒、検温等にご協力ください。また、出演者への花束・プレゼントは謹んでご辞退申し上げます。ご来場のお客様への注意事項の詳細はHPに掲載しておりますので、必ず事前にご確認ください。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

会場 第一生命ホール

都営地下鉄大江戸線「勝どき駅」
A2a 出口徒歩 8 分

● 動画配信について

本演奏会の模様は、後日動画配信(有料)を予定しております。詳細はHPでお知らせいたします。





信長貴富(監修)

1994年上智大学文学部教育学科卒業。1994・95・99年朝日作曲賞(合唱曲)、1998年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位、2000年現音作曲新人賞入選(室内楽曲)、2001年日本音楽コンクール作曲部門(室内楽曲)第2位などを受賞。多数の合唱曲のほかに、歌曲、器楽作品など多岐にわたる。「信長貴富歌曲集」「こどものためのピアノ曲集 スタートダッシュ」ほか出版多数。近年ではオーケストラや器楽アンサンブルを伴う合唱作品や、合唱のためのシアターピースも多く手がけている。



しままなぶ(演出)

演出家・劇作家・俳優。岩手県北上市生まれ。宇都宮大学卒業。俳優として舞台や映像作品に出演、同時に劇作家・舞台演出家として活動の場を広げてきた。劇団やプロデュース公演による芝居を始め、合唱団によるシアターピース、合唱劇、オペラの演出、また各種コンサートや声楽家のリサイタル等、音楽分野で多数の演出を手掛けている。作演出した主な作品には、合唱劇『賢治と嘉内～銀河鉄道の二人』(作曲:寺嶋陸也)、オペラ『グスコブドリの伝記』(作曲:寺嶋陸也)、合唱のためのシアターピース『あの日の空の詩』(作曲:信長貴富)等がある。



久米彩音(打楽器)

大阪府立夕陽丘高校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。今までに打楽器及びマリンバを、田口富美子、後藤ゆり子、中谷満、吉原すみれ、藤本隆文、宮崎泰二郎の各氏に師事。第9回KOBE国際学生音楽コンクールA部門にて、優秀賞並びに兵庫県芸術文化協会賞を受賞。大学卒業時に同声会賞を受賞。受賞者演奏会に出演。現在は、フリーランスの打楽器奏者として、オーケストラ、吹奏楽、アンサンブルなどを中心に活動している。MONET marimba duo、マリンバアンサンブルquint、TOYSPARK、Toridori Percussion Duo 各メンバー。



目等貴士(打楽器)

福岡県出身。14才より打楽器を始める。東京藝術大学卒業。卒業時に同声会賞受賞。同大学院修士課程修了。2019年度アフィニス文化財団海外研修員として、ドイツ・フライブルクに留学。Hochschule für Musik Freiburgにて研鑽を積む。これまでにティンパニ・打楽器を関修一郎、有賀誠門、竹内将也、藤本隆文、宮崎泰二郎、Håkon Stene、Tilman Collmerの各氏に師事。現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団ティンパニ首席奏者、及び東京吹奏楽団ティンパニ奏者。Toridori Percussion Duo、Bonze Percussion Duo 各メンバー。洗足学園音楽大学講師。



雨森文也(指揮)

1959年生まれ。指揮法を黒岩英臣、ピアノを立川のぶみの各氏に師事。CANTUS ANIMAEなど、11団体の音楽監督を務める。全日本合唱コンクール全国大会で多数の金賞を受賞。2002年世界合唱オリンピックに於いて指揮者賞を、2008年にはアレツォ国際ポリフォニーコンテスト(イタリア)に於いて最優秀指揮者賞を受賞。近時は、オーケストラとの学校公演などの指揮者としても活動している。



平林知子(ピアノ)

京都市立堀川高校音楽科(現・京都市立京都堀川音楽高校)を経て、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻を卒業。ピアノソロをはじめ、ピアノデュオや声楽・弦・管・打楽器とのアンサンブルで多数の演奏会、コンクール、講習会等に出演。またFM放送やCD録音に参加、新作初演にも多く関わっている。とりわけ合唱との共演においては、現在関西を拠点に、東京、静岡、長野、愛知、岐阜、島根などで常任ピアニストをつとめる他、各地で精力的な活動を展開している。



野間春美(ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部音楽科ピアノ専攻を経て同大学研究科を修了。第5回友愛ドイツ歌曲コンクールにおいて優秀伴奏者賞受賞、第7回日本室内楽コンクール入賞。大学在学中より室内楽をはじめとするアンサンブルピアニストとして活動を始めNHK交響楽団や東京交響楽団他などのメンバーと数々の演奏会で共演。NHK-FM「土曜リサイタル」「FMリサイタル」「BS-TBS日本名曲アルバム」に出演するほかNHK全国学校音楽コンクール、学校音楽教材などのレコーディングに多数携わる。またオーケストラ鍵盤奏者としての活動や伴奏法の講座を持つなどその活動は多岐にわたっている。これまでに新国立オペラ研修所ピアニストを歴任し、現在、桐朋学園大学嘱託演奏員を務める。

CANTUS ANIMAE(合唱)

1998年7月、岐阜県在住の雨森文也氏の音楽に魅せられた「歌好き」たち23名が創団。世界に通用する合唱団になろうという、かなり無謀な夢をもって、団名をラテン語で「魂の歌」と名付けた。翌年、全日本合唱コンクール全国大会に出場し、金賞受賞、以降同大会において金賞受賞17回(内1位文部科学大臣奨励賞5回)、2002年には世界合唱オリンピックに出場し、宗教音楽部門で金賞受賞(3位)、混声室内合唱部門で金賞(1位)オリンピックチャンピオンを受賞した。これまでに、自主公演24回、その他レコーディングや各地のイベントに参加している。創団から20年あまり。団員数は50名程度までに成長したが、全員が無類の「歌好き」で、無謀な夢を追う人々であることには変わらない。